

情報提供日	令和6年(2024年)8月13日(火)
問い合わせ先	広島市植物公園 管理課 中原、富澤 栽培・展示課 山本、泉川 TEL 082-922-3600

江戸時代の園芸文化を今に伝える 変化朝顔展

広島市植物公園では、昭和57年(約40年前)から「変化朝顔」の栽培・展示を続けており、国内でも有数の展示実績があります。当園では、遺伝子の変異により生じた貴重な変化朝顔を数多く保存しており、展示会ではその多彩な花や葉を楽しんでいただけます。広島市民の有志で構成された「広島あさがお研究会」の会員が交配育種して育てた変化朝顔や朝顔にまつわる絵手紙などの作品も出品します。

開催期間：8月24日(土)～9月1日(日)(金曜休園)

協力：広島あさがお研究会

展示場所：広島市植物公園 展示温室

臨時売店：あり(期間中毎日10時～12時)

売り切れ次第終了

出品点数：約200点

※朝顔は朝咲く植物のため、午前中の観賞をおすすめします。

【関連イベント】※詳細はチラシをご確認ください。

変化朝顔展解説

開催日：8月25日(日)10時～11時

㊦変化朝顔展講演会

開催日：8月27日(火)10時～11時半

変化朝顔とは？

変化朝顔は、珍しいものの好きだった江戸時代の人たちが発展させた園芸植物です。

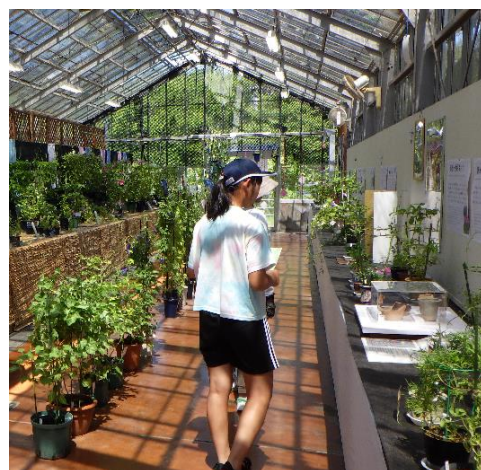
糸のような葉、多肉植物のような姿、撫子(なでしこ)のような花、八重咲の花など、朝顔と思えない珍しいものがあり、これらはみな遺伝子の変異によるものです。変異株は種子が採れないことが多く、系統維持をするには遺伝学的な知識がないと難しいのですが、驚くことに現在の様に遺伝学が発達していなかった江戸時代でも、人々は長年の経験によって様々な変化朝顔を栽培し続けていました。



様々な変化朝顔



変化朝顔にまつわる作品



昨年の様子

開園時間 午前9時から午後4時半まで(ただし、入園は午後4時まで)
入園料 大人510円、65歳以上・高校生170円、中学生以下無料 休園日 毎週金曜